令和４年度　金栗四三顕彰事業「筑波大学オンライン授業」実施要項

令和４年６月２１日

１　目　的

　　筑波大学の教授による講義をとおして、金栗四三翁の母校である本校の生徒が、先輩の偉大な功績や思想にふれることで、自らの可能性に目を向け、高い志を抱く契機とする。

２　育成を目指す資質・能力

　　肯定力、挑戦力、貢献力

３　主催・共催

玉名市「いだてん」地域振興協議会、熊本日日新聞社

４　講師・演題

　　筑波大学特命教授　真田　久　氏

　　『オリンピックの歴史的意義について　～東京２０２０大会を通して考える～』

５　対　象

　　高校全日制１年生（２４２名）、２年生（２４８名）および附属中学校３年生（８０名）

６　日　時

　　令和４年７月１４日（木）１３：２５～１５：１５（５限目、６限目）

７　会場・実施方法

　　各教室、オンラインにて実施

８　日程

　　１３：００　接続確認

　　１３：２５　開会・講師紹介（放送部）

　　１３：３０　講演（４５分）

　　１４：１５　休憩（１０分）

　　１４：２５　質疑応答（４０分）

　　１５：０５　謝辞（生徒会長）

　　１５：１０　閉会

９　その他

（１）筑波大学とのオンライン接続は、熊本日日新聞社のZoomを利用して行う。

（２）本校大会議室を本部とする。

（３）各教室の受信環境等について、図書・教育情報部を中心に確認する。

（４）講師紹介は、放送部生徒が担当する。

（５）謝辞は、生徒会長が行う。